

第76回日本生化学会東北支部例会・シンポジウムに参加し、口頭発表を行ってきました。学生が少なく緊張しましたが、落ち着いて発表することができました。シンポジウムでは非常に興味深いお話を聞くことができ、充実した1日を過ごすことができました。また、他の先生がたの発表に刺激を受け、研究に対するやる気が高まりました。このような発表の機会をいただきましてありがとうございました。

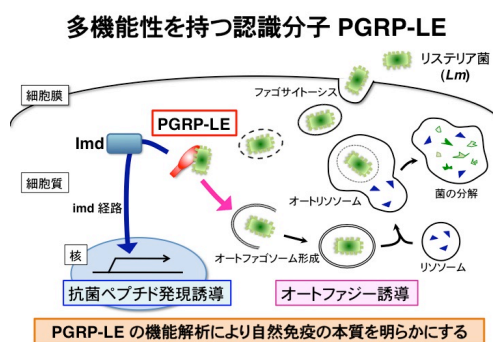
M1 小澤奈央

私は5月8日（土）に催されました第76回日本生化学会東北支部例会・シンポジウムに参加し、とても実のある時間を過ごすことができました。何よりも有益であったのが、他大学の先生方から、私には考えつかないような視点からのご質問を頂き、自分の研究を新たな方向から見つめ直すことができたことです。日々の研究では、同じ研究室の人としか討論をかわす機会がない為、視野が狭まりがちです。しかしながら、今回の学会で他分野に精通した先生方の前で発表したことによって、私たちの分野の人とは別の視点から私の研究成果について評価をしてもらえたことから、今回の学会がとても有意義なものになりました。またこのような機会がありましたら、ぜひ参加したいと思います。

今回このような機会を与えて頂き、感謝致します。

M1 熊田 幸平

今回の学会での発表は、初めての学会参加であり、行く前は学会がどのようなものかあまり想像もつかず緊張もしましたが、日々の研究成果を発表する場である学会への念願かなっての参加であり、一言で言うと参加できてうれしかったです。というのも、倉田先生がよくおっしゃることで、サイエンスは発表していろいろな人と議論してこそだというお話がありましたので、それを実現することがこれまでの目標でした。しかし、実際に発表して質疑応答の時間になると受けた質問に対して的確にビシッと返答することは難しく、まだまだだなあと痛感しました。今後は、いただいた質問を参考に自分の研究テーマに対する考察をさらに深め、次回以降の発表の機会によりよい議論の時間を持てる様にしたいと思います。



M1 白田陽一